

CONNECTION

コネクション

Palla/ 河原和彦

わたしたちが存在するこの世界は、個々が複雑に繋がりあう巨大なネットワークを形成している。わたしたちは、その渦中にあるためにネットワークの全貌を知ることは容易ではない。それぞれの繋がり（コネクション）は、偶発的なものであり、繋がる理由、強さも様々である。ゆえに相互コネクションの法則性を見つけることは難しく、それらをすべて精査してネットワークの全体像を得ようとする試みは徒労に終わることになる。

一方、もしわたしたちがこの世界を俯瞰する立場であったであつたら、その複雑な網目をほどこ、そこに含まれる意味を抽出することは案外簡単なことなのかもしれない。それは文字や絵画の読解に似ていると考えられるからである。複雑にもつれた大量の筆の軌跡が時空を越えてわたしたちに多様な意味を伝えうるのである。

空間にランダムなひと筆書き描き、その曲線上に規則正しいリズムでコネクションを配置する。たったそれだけの単純な操作によって、美しいシルエットの曲線は、乱雑にもつれた構造物に変化してしまう。それはわたしたちの周囲に張り巡らされたネットワークにも似ているが、そういった構造物の中に美を見つけるならば、それはこの世界の全貌をわたしたちに予感させる契機になるに違いない。